

古典に学ぼう

九成宮醴泉銘「九成」

高橋香樹

今月号より「九成宮醴泉銘」を学んでいきます。

「九成宮醴泉銘」（以後「九成宮」とします）は中国唐時代の欧陽詢（五五七〜六四一）が書いたものです。欧陽詢は、虞世南、褚遂良とともに「初唐の三大家」のひとつに数えられています。欧陽詢の代表作には、楷書では

化度寺碑、皇甫誕碑、温彦博碑、隸書では房彦謙碑があります。

「九成宮」の遺跡は陝西省麟遊県にあり、原碑は碑室の中に保存されており、文字数は一一〇九字です。

唐の太宗皇帝が避暑地として隋代に建てられた仁寿宮を修復し、「九成宮」と名を改めました。こ

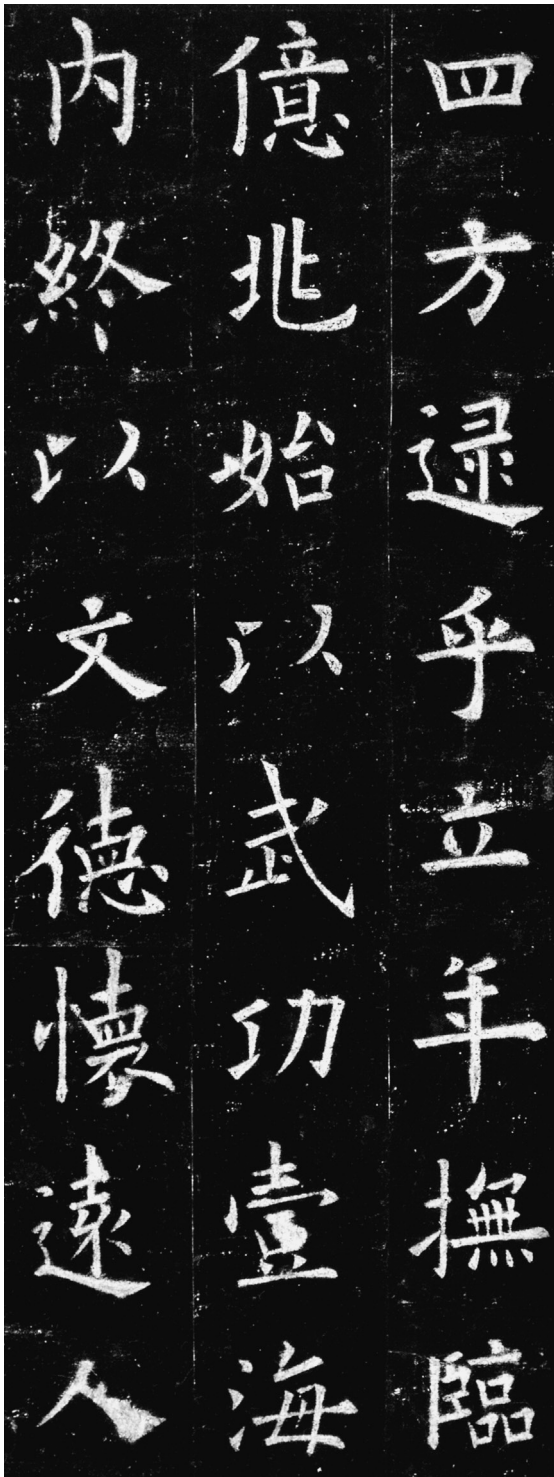
の「九成宮」には敷地内に水源がなかったが、六三二年太宗が散策中に湧き水を発見しました。これを記念して銘文が起草され、欧陽詢に命じて書かせたのが「九成宮」です。

「九成宮」は、古来より「楷法の極則」といわれ多くの拓本がとられ、書の勉強は、行書は「蘭亭

序」から、楷書は「九成宮」から始めるといわれたものです。

「九成宮」は、起筆は四十五度から入筆し、背勢（縦画は内側に反る）、横画は右肩上がりで分間

は均等に書かれています。整齊の美といわれる「九成宮」、多くのおみなさんの出品を期待しています。

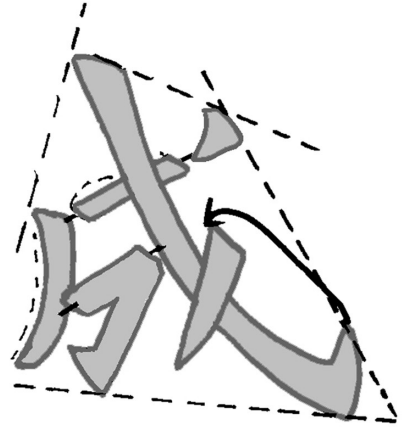


四方、逮乎立年、撫臨億兆。始以武功壹海内、終以文德懷遠人。

校名



○○○○臨



九成宮醴泉銘 (天来書院)

《学び方》

九 一画目は四十五度の角度から入筆。矢印は次画への意識。二画目も四十五度の角度。転折では筆を少し持ち上げ筆を突き、引き上げながら△で一たん止まり右へ運筆。その時、中央部が底で両脇は少し間がある(○)。ハネは真上ではなく少しかかえこむように外側にハネる。

成 一画目の縦画はなるべく立てて、二画目は短く右肩上がり。三画目も右肩上がり。四画目は頭を大きく出し、長く。ハネは真上に。五画目下がらぬように。六画目の点左に払う。

〔出品〕 高校生、中学生（一般部に編入した人も出品可）

〔形式〕 半紙たて書き

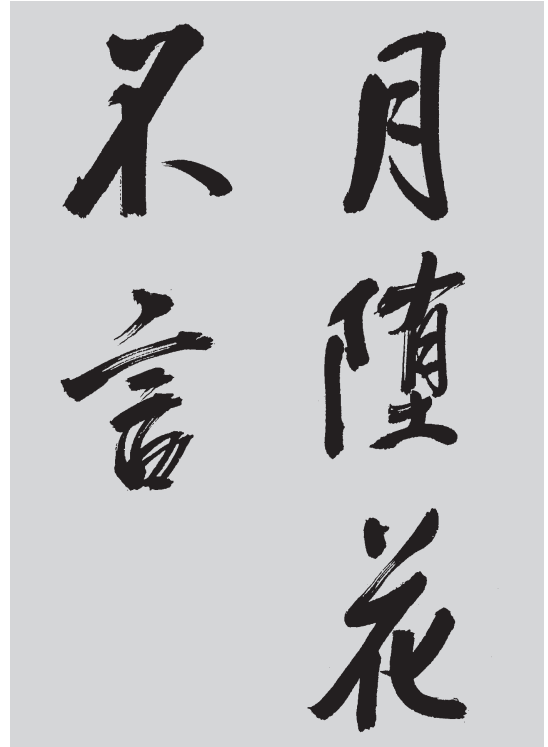
〔締切〕 5月22日 〔出品料〕 二二〇円

〔発表〕 学生書筵七月号

2月締切課題「意也」(風信帖) 総評

今回の課題は一筆書き(墨継ぎをせず一筆で書くこと)の上、線の強弱やスピードの変化等なかなか難しかったと思いますが、数多くの出品大変うれしく思いました。この線の強弱とスピードの変化がよく出来た方は、写真版以外の方では、奈良めぐみさん、向山芽以さん、西原理帆さん、石川愛さん、篠崎夕記望さん、多々良真結さん、小野真莉人さん、長島麗さん、竹浪潤さん、高清水楓乃さん、福田気恵さんでした。

高校漢字(行) 高塚竹堂先生書



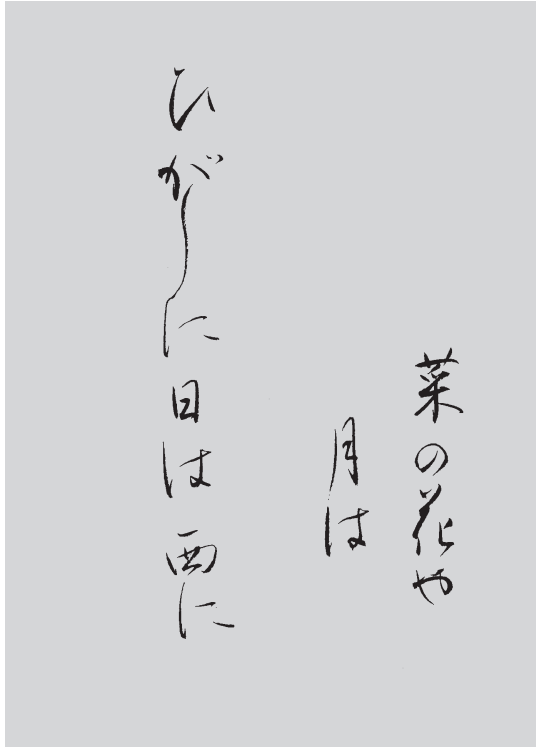
学校名

段級

氏名

月墮ちて花言わず（高青邱）

高校かな 石島柏美先生書



学校名

段級

氏名

菜の花や月は東に日は西に（蕪村）

中学漢字(楷) 高橋香樹主幹書



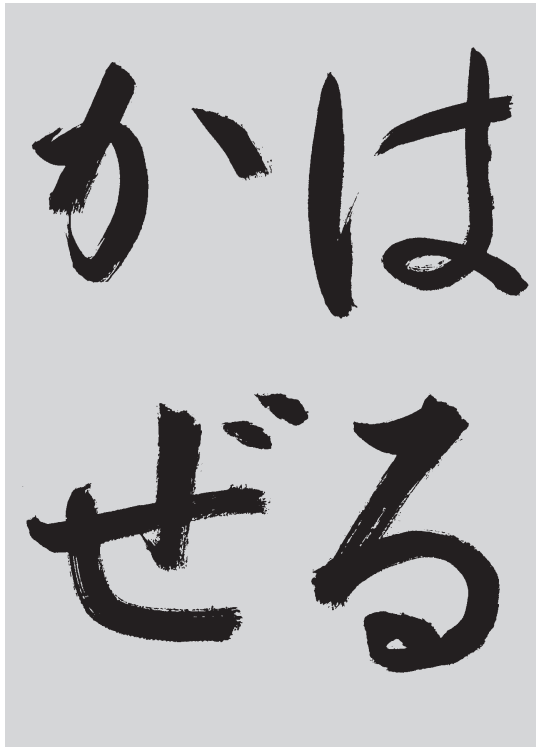
学校名

段級

氏名

※ 作品に校名、段級、氏名を書くこと。

中学かな 水貝潮華先生書



学校名

段級

氏名

注意 1. 会員外の出品料は1作品につき240円。

小学五年 高橋香凌先生書

学校名

段級

氏名



小学六年 高橋香凌先生書

学校名

段級

氏名



小学三年 星野煌雪先生書

学校名

段級

氏名



小学四年 星野煌雪先生書

学校名

段級

氏名



注意 1. 会員外の出品料は1作品につき240円。

※ 作品に校名、段級、氏名を書くこと。

小学二年 高橋香樹主幹書



学校名

段級

氏名

硬筆昇試課題手本 (五月二十二日締切)

水貝潮華先生書

※高校・中学はペン又は万年筆、色は黒で書いてくだ

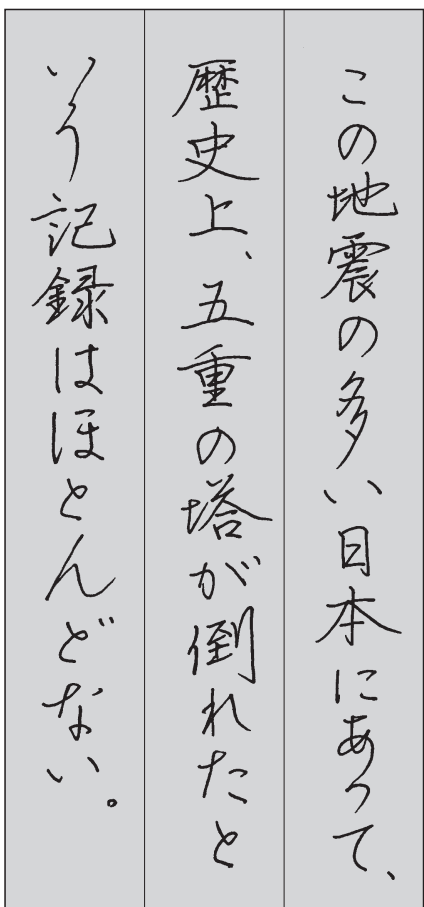
さい。(鉛筆・青インクは不可)

※小学生は鉛筆(2B〜4B)で書いて下さい。

※消しゴムを使用せずに書いたものを提出して下さい。

※注意 会員外の出品料は1作品につき二四〇円。

高校・中学



筆順(行書)

この地震の多い日本にあって、
歴史上、五重の塔が倒れたと
う記録はほとんどない。

小学一年 高橋香樹主幹書



学校名

段級

氏名

※ 作品に校名、段級、氏名を書くこと。

学生部 春季 昇級試験

毛筆部

▼締切 四月二十二日（必着）
▼発表表 六月号誌上

■昇試課題（三月号P6、P8掲載手本）

学年	課題
高校漢字	春景色 山道（楷）
高校かな	なくひばり
中学漢字	花散る窓（楷）
中学かな	わらびとり
六年	暖かい日
五年	春の山
四年	大地
三年	弟
二年	へや
一年	とり

■用紙 半紙「たて書」
■受験料 高中生 各一、〇八〇円
小学生 八六〇円

※毛筆部現「最優秀」は受験できません。

硬筆部

▼締切 五月二十二日（必着）
▼発表表 七月号誌上

■昇試課題（本誌P4、P5掲載手本）

学年	課題
高校	この地震の多い日本にあって、歴史上、五重の塔が倒れたという記録はほとんどない。
中学	伝えたい言葉をはっきりと話す
五年	細い山道のそばを小川が流れる
四年	新しい教科書
三年	明るいみどり
二年	暖かくなり植物が勢い良く育つ
一年	ちょうがとぶ

■用紙 専用の硬筆用紙
■受験料 一律 四九〇円

※硬筆部現「最高」は受験できません。

〈申込み・出品方法〉

- 1 作品に申込書を添えて出品して下さい。
- 2 封筒の表に「学生昇試作品在中」と赤字で記入しお送り下さい。
- 3 パーコード券の「毛」または「硬」、「昇試」、学年（中、高は「漢」「か」）に○をつけ、現級（毛筆部は4月号、硬筆部は5月号に掲載の段級）を記入し作品の左下に添付して下さい。
- 4 学年別にして段級の順序に整理の上お送り下さい。

〈受験料の送金方法〉

- ①郵便振替 ②現金書留 ③作品と一緒に持参

※なるべく郵便振替でお願いします。
申込書の送金方法の欄のいずれかに○をつけて下さい。
現金の場合のみ領収書をお送りします。

会員外は受験料のほかに会員外出品料を1作品につき二四〇円加算して下さい。